

(一般質問)

齊藤伸 ー 1 糸魚川市耐震改修促進計画の取組状況について

平成19年7月16日に発生した中越沖地震で災害ボランティアとして救援活動を行って来ましたが、死者や重軽傷者のうちほとんどが家屋の倒壊が原因とのことであります。

最近でも地震の発生が数多くあり、耐震化の促進が急がれております。

当市においては、平成18年に改正された建築物の耐震改修の促進に関する法律に添って、平成20年3月に糸魚川市耐震改修促進計画が策定され取り組みが進められておりますが、実施状況と今後の取り組みについて、以下の項目にて伺います。

- (1) 一般住宅及び多数の者が利用する特定建築物の耐震化の現状と実施状況
  - (2) 計画期間である平成27年度までの、具体的な年次実施計画の策定は必要でないか。また、財政の見通しはどうか。
  - (3) 耐震診断及び耐震改修の助成及び融資利用状況は。
  - (4) 耐震改修に関する市民への啓発はどのように行っているか。
  - (5) 地震防災マップの作成はいつまでに行うのか。
- 2 新エネルギーの利用推進について

わたしたちの生活においては、電気やガスは欠かせないものであります。ただし、このエネルギーの多くは石油や石炭、天然ガスといった限りある資源によって支えられており、地球温暖化が問題となっている昨今では新エネルギーの活用が促進されております。

糸魚川市として新エネルギー活用についてどのように取り組んでいるのか、以下の項目にて伺います。

- (1) 糸魚川市における新エネルギーを導入している種類はどんなものがあるのか、また、実績及び取組状況は。
- (2) 旧糸魚川市で平成15年3月に「糸魚川市地域新エネルギービジョン」が策定されていたが、合併後の新市において、新エネルギービジョンの策定が必要と考えるが、考えは。

田中立 ー 1 農業について伺います。

- (1) 天候不順による農作物への影響について

今年は春の小雪、小雨による干害と夏は一転して降雨が続き、冷夏、日照不足による農作物への影響が懸念されています。

稲作は、全国的にまた県内においても「平年並み」との報道ですが、当市の見通しは。

病害虫の発生は。また被害は。

他の農作物の影響は。

熊の出没が例年より多いように見受けられるが、いかがか。

林野の食べ物不足で鳥獣被害が心配されるが、いかがか。

(2) 中山間地滞留人口について

グリーンツーリズムによる交流人口と共にここ数年新たに都市と農村との交流を更に一步推し進めた形の滞留人口の拡大策が注目され、国も支援しています。

当市における滞留人口についての取り組みは。

クラインガルテンもその1つとして既に全国各地で取り組みが行われ、成果が見受けられますが、当市においてもクラインガルテンは検討すべきと思うが、いかがか。

2 並行在来線と大系線について伺います。

4月に新潟県交通政策局交通政策課並行在来線企画室が設置され、新潟県並行在来線開業準備協議会による「旅客流動調査」結果が示されました。

(1) 30年後、乗車密度が現在の4割減という調査結果について見解は。

(2) 4月から少なくとも6月末までに4回の幹事会他書面総会等が行われ、並行在来線の経営計画について話し合われていますが、その内容が市民にまで伝わってこないように見えますが、いかがか。

(3) 県は3セク経営についてどのように考え、市ではどのような要望をされていますか。

(4) 並行在来線及び大系線存続に向けて、市民の盛り上がりに向けての取り組みは。

3 文化・スポーツ等で市に功績のあった市民に対しての褒賞について伺います。

能生中相撲部が全中で県勢初の全国制覇をし、更に個人でも過去最高の準Vを成し遂げたことは記憶に新しいが、

(1) 市として功績を称える予定は。

(2) 文化・スポーツ等で功績のあった市民を称える賞について

4 バス路線外のスクールバス等通学の確保について伺います。

6月一般質問での答弁では「同じような条件の集落がたくさんあり困難」とのことでしたが、

(1) 市内には同じ条件の集落がどれ位ありますか。

(2) 実施するには予算はどれ位か。

(3) 今後実現に向けての対策は。

甲 村 聰 1 市長公約について

市長公約のうち、次の事項に関して、今後の展望と具体策について市長の見解を伺います。

(1) 衆議院選挙の結果から、市長公約の実現（市政運営）に対し、どのような影響があると受け止められているか、見解を伺います。

- (2) 自然資源を活用したまちづくりについて伺います。
  - 世界ジオパークの認定後の情報発信
  - ガイド養成と受入体制の確立
  - 観光振興から地域振興への結びつけ
- (3) 交通ネットワーク整備による快適なまちづくりについて伺います。
  - 中央大通り線第3期区間の整備へ向けての進捗状況
- (4) いきいき健康のまちづくりについて伺います。
  - 医師確保対策の推進
  - 健康づくりセンターの建設と市民健康づくり事業の推進

伊藤 文博 1 北陸新幹線開通に向けた駅周辺まちづくりと交通環境整備について  
 北陸新幹線開通を5年後に控え、駅舎の基本設計も示された。駅舎及び周辺まちづくりと交通環境整備について伺う。

- (1) 駅舎と周辺まちづくりの設計内容について、簡易設計から基本設計に至るまでの協議経過と、今後の方針について

民間、又はそれを含む各委員会、協議会、まちづくりの会などとの意見交換による諸課題について、十分に検討し設計協議に持ち込まれた上で、設計に反映されているか。

駅舎設計上、留意した事項とそれに関わる今後の方針は。

- (2) 新幹線開通後の交通環境の確保、並行在来線は地域の大きな課題です。
  - 在来線の存続、経営母体の協議についての進捗状況は。
  - 新幹線開通後の在来線（北陸線・大糸線）の経営改善について、今の段階から取り組まなければならない課題は。

2 世界ジオパークのブランドを利用した交流人口拡大について

「夏までに策定」とされた「交流人口拡大プラン」の中間報告が示された。基本構想と実施計画で構成されるというプランだが、中間報告は基本構想部分であり、実施計画は各課から上がってくる段階だという。

8月23日に世界ジオパーク加盟が決定した現時点では、全てが遅れている。今後の課題について伺う。

- (1) 「交流人口拡大プラン」で市民理解の促進は可能か。
- (2) 「交流人口拡大プラン」に関する今後のスケジュールは。
- (3) 「交流人口拡大」における、糸魚川市、商工会議所（商工会）、観光協会、民間各団体・個人、地域社会の役割についてどう考えているか。
- (4) 認定後の庁内体制は現状で十分か。

3 教育現場のICT化について

経済危機対策臨時交付金事業で市内小・中学校にデジタルテレビ、パソコン、電子黒板、各種ソフトなどが整備される。どのように活用を図るのかについて伺う。

- (1) 教育現場の情報化の必要性についてどう考えているか。
- (2) 教育現場の情報化の目的は何か。
- (3) ICT設備活用についての方針は。

保 坂 悟 1 子育て支援について

(1) 育児環境について

「後天的発達障害」、「適応障害」、「スチューデント・アパシー」など育児環境から起こる障害があります。現状と対策はどうか。

(2) ひとり親家庭（特に父子家庭）の支援について

子どもの年代や人数、就労形態や所得などの状況によって、子育てが困難な家庭があります。支援の拡充をすべきと思うが、どうか。

(3) 公園等の遊具について

遊具があっても子どもの体格に合わなければ、遊ぶことができません。遊具は児童用と幼児用を設置すべきと思うが、どうか。

(4) ブックスタートについて

東京おもちゃ美術館顧問の宮森美里さんが当市に絵本700冊を寄贈して下さいました。10か月健診などで配布するそうですが、保護者の感想と赤ちゃんの反応を調査すべきと思うが、どうか。

2 山間地に住む高齢者の行政サービスについて

(1) 山間地のAED（自動体外式除細動器）設置について

当市はこれまで人が多く集まる所を中心にAEDを設置してきましたが、今後、救急車の到着時間を加味した上で、山間地にAEDを設置すべきと思うが、どうか。

(2) 水中運動に参加しやすい環境づくりについて

水中運動教室に定期的に参加できる専用バスの運行やプール利用料の軽減など、気軽にプールへ通えるようにすべきと思うが、どうか。

(3) 行政サービスを受けやすい環境づくりについて

高齢者のバス券購入やタクシー券・おむつ券などの各種申請手続きが、身近な所でできるようにすべきと思うが、どうか。

3 新エネルギーの推進について

(1) 環境対策・景気対策・教育のために「太陽光発電LED街路灯」と「ハイブリッド街路灯」を積極的に設置すべきと思うが、どうか。

(2) 世界ジオパークの目的から、ジオサイトのトイレや駐車場の電力に「太陽光発電」や「ミニ風力発電」を導入すべきと思うが、どうか。

(3) 今年11月から太陽光発電の売電価格が2倍になります。住宅用太陽光発電を普及させるために、当市の補助額を1キロワット当たり、7万円から10万円に拡大すべきと思うが、どうか。

(4) 公共施設に太陽光パネルを設置する検討結果はどうか。

#### 4 職員体制の在り方について

- (1) 介護予防と健康増進の観点から、きめ細やかな市民対応をするために保健師の拡充をすべきではないか。
- (2) 「問い合わせ専門ダイヤル」の設置について  
市民の問い合わせに敏速に応えるためと職員の仕事の効率性を上げるため、問い合わせ専門職員の配置と専門ダイヤルの創設をすべきと思うが、どうか。
- (3) 少子高齢化の中で人材を確保するために、職員人件費を手厚くする必要があります。そのためには「事業仕分け」を徹底的に行い、自治体実施事業・民間委譲事業・事業中止を今以上に明確にすべきと思うが、どうか。

#### 5 災害対応について

- (1) 災害時の高速道路無料開放について  
災害等で国道が不通になった場合、高速道路を無料開放できる緊急システムが必要と思うが、どうか。
- (2) 防災セット（防災持ち出し袋）の購入促進について  
ゲリラ豪雨に代表されるように全国で水害や地震、竜巻など異常気象が続いております。このような背景を踏まえて、防災セットの購入を行政が広くあっせんし、その普及に努めるべきと思うが、どうか。

#### 野 本 信 行 1 高齢者福祉対策（医療・介護）の現状と今後の安心確保の施策の推進について

人口減、少子高齢化が進行している本市にとって、少子化対策も大変重要な対策事業であります。高齢者の医療、介護事業も極めて重要な施策であると痛感しております。

当市の現状をどのように受け止め、今後の具体的施策の推進を行う構想を描いているのかをお伺いいたします。

- (1) 高齢者医療機関、介護施設などの現状認識について
  - (2) 高齢者健康づくりの全市的行動計画推進について
  - (3) 高齢者介護支援の各有資格者等の人材確保と育成策について
  - (4) 行政として支援補助の基本的推進策について
  - (5) 要介護者受入施設の確保について
- #### 2 市行政の人的効率化に対する基本的な対応策の推進について

市人口の減少化、市財政力の見通しなどを総合的に考えますと、市職員の市民ニーズと財政力を背景により効率的適正配置を行う必要があります。

一方、一般職以外の専門職の必要・適正配置が強く求められております。現状と今後の対応策についてお伺いいたします。

- (1) 消防署職員と各地区消防団員の現状について
- (2) 保育園職員の現状について

- (3) 小・中学校の管理員と身分について
- 3 当市の森林整備・林業再生事業の推進について
- 国・県が森林保護、里山再生、環境保全などの目的で、森林整備加速化、林業再生事業を提唱し補助計画を策定しておりますが、当市の現状と今後の取り組みについて伺います。
- (1) 当市における事業推進上の問題点について
- (2) 関係団体との協議・連携の進捗状況について
- (3) 世界ジオパークに認定され、ジオサイトまでの沿道、サイトの周辺整備も必須事業となるのではないかと。
- (4) 国・県の補助（基金）事業の申請を行う考えについて
- (5) 地元材木の利用促進、里山再生、環境保全、間伐材の有効活用などの観点から着実な取り組みが必要と考えるが、いかがか。

田原 実 1 新型インフルエンザへの行政対応について伺います。

- (1) 8月23日糸魚川市主催地域医療フォーラムについて
- (2) 医療フォーラムの効果の確認と今後の行政対応について
- (3) 予防対応の市民周知と市民理解について
- (4) 今秋冬に予定されているイベント・式典などへの対応について
- (5) 大流行の場合の薬品の確保とその安全性、食料備蓄等への対応について
- 2 糸魚川ジオパーク事業の推進について伺います。
- (1) 糸魚川ジオパークの情報発信と誘客について
- (2) ジオパーク、ジオサイトの案内所について
- (3) ジオサイトツアーのテキストやガイドについて
- (4) ジオサイトに生息する吸血害虫（イヨシロオビアブなど）等の対策について
- (5) ツアー客の宿泊と飲食への対応について
- (6) ジオパークキャラクターや市のシンボル（木・花・鳥・石）の活用について
- (7) 国内他ジオパークに負けない「ツアー」の魅力づくり、その戦略について
- (8) ジオパーク事業による交流人口増大と経済効果の予測について
- (9) これまでジオパーク事業に費やされた行政コストと今後かかる行政コストの予測について
- (10) 費用対効果の確認方法とジオパーク事業のPDCAサイクルについて
- 3 新糸魚川駅舎工事費のチェック不足と行政責任について伺います。
- (1) 新糸魚川駅舎設計内容のチェック時期と工事予定額について
- (2) 当初より3倍になった工事予定額の議会・市民への報告が遅れた理由
- (3) 新糸魚川駅舎等計画推進の職員体制と庁内でのチェックについて

- (4) 市民負担と新糸魚川駅舎等計画全体の見直しについて
- (5) 財政計画への影響と行政責任について

渡 辺 重 雄 1 行政の企画提案力と市民との協働のあり方について

合併して4年、合併の必要性を説いている新市建設計画、この計画を受けて、新市のまちづくりの目標と施策の大綱を示す総合計画が作成され、糸魚川市のめざす方向が示されています。新市建設計画では、地域バランスや新市のレベルアップ、総合計画では、産業交流による仕事づくりと信頼交流による暮らしづくり、そして米田市長のマニフェストでは、7項目によるまちづくりと人づくりを政策公約として掲げています。

しかし、厳しい財政状況となかなか市民満足度の上らない現状にあって、これらを具体的にどのような手法により施策に結び付けて、市民に示した計画や公約の達成度を上げていくのが問題です。

総合計画の実施計画には、各項目ごとに多くの事業の実施計画が盛り込まれていますが、私は、これらを生きた事業にするために、各計画のあらゆる場において、もっと情報、組織、意思決定をうまく連動させ、タイムリーな展開により成果を上げる必要があると考えます。

そのためには、今まで以上に行政の企画提案力と市民との協働が必要であると考えており、これらの観点に立ち、市民に身近な「まちづくり」「仕事づくり」「人づくり」の3点についてご質問をいたします。

- (1) 「まちづくり」について
  - 自治組織、まちづくり登録団体とのつながりについて
  - 協働のための環境・体制について
- (2) 「仕事づくり」について
  - 「農業支援」「企業支援」の実状と課題について
  - 関係団体との連携について
- (3) 「人づくり」について
  - 公民館体制の見直しと実施時期について
  - 生涯学習の実状と課題について

五十嵐 健一郎 1 行政改革の推進について

次の項目により伺います。

- (1) 地区公民館体制の見直し
  - (2) 職員の地域への貢献
  - (3) 組織・機構の見直し
  - (4) 市税等各種徴収金の収納率の向上
- 2 県行政等との連携強化について
- 次の項目により伺います。

- (1) 県及び地域振興局、県議との常設機関の設置
  - (2) 駅周辺整備事業
    - 駅周辺整備事業費
    - 追加認可（その2認可）
    - 埋蔵文化財調査
    - レンガ車庫
    - 開業に伴う交流人口の増加策
  - (3) ひすいの里分校高等部普通学級及び重複学級の設置
- 3 世界ジオパークのブランドを活用した交流人口拡大プランについて  
次の項目により伺います。
- (1) ガイドの養成とガイド組織の発足
  - (2) 新たなツアーシステムの整備
  - (3) 宿泊、滞在につながる各種交流の推進
  - (4) 新たな情報交流の創出
  - (5) リピーターづくりの工夫
  - (6) 奴奈川姫伝説他の普及・活用

池田達夫 1 能生生涯学習センターと周辺の関連施設について伺います。

- (1) 生涯学習センターの概要と工事日程は。
  - (2) 新しい図書館の利用者への利便性は。
  - (3) 能生体育館の耐震補強工事などについて
  - (4) 能生保健センターの現状と今後の活用計画は。
  - (5) 能生児童館・図書館の今後は。
- 2 能生新町の住宅火災と消防水利の現状などについて伺います。
- (1) 今回の火災の出火原因は。
  - (2) 今回の火災から教訓とすべき点は（住民への告知方法、指揮命令系統、消防水利、火報器の設置、防災組織など）。
  - (3) 全市的な消火栓の整備の現状と保守管理は。
  - (4) 全市的な防火水槽の整備の現状と保守管理は。
  - (5) 「火災警報器設置促進事業」の取組状況
- 3 ひめかわポートフェスティバルでの自衛隊車両一般公開について伺います。
- (1) フェスティバルの目的、歴史は。
  - (2) 自衛隊車両公開の経緯は。
  - (3) 自衛隊車両公開は適切か。
  - (4) 次回から公開を中止する働きかけを。



## 古畑浩一 1 ジオパーク事業の推進と観光振興について

8月23日糸魚川ジオパーク世界認定決定。糸魚川市が世界にその価値を認められた瞬間でした。

日本初のユネスコ認定世界ジオパークに向けて、米田市長始め官民一体となって推進してこられたご努力が報われたことは、糸魚川市民にとってもまことに喜ばしいことであり、心よりお祝いを申し上げます。

昨年、9月定例議会に同じ項目で質問をさせていただいておりますが、「今は世界認定に向けて、全力を傾注していきたい」とのお答えでありました。

世界認定が成った今、今後、ジオパークを核とした観光振興策。地域おこし、地場産業育成など、どのような事業展開をしていくのかお聞かせ下さい。

また、冬の小雪、夏の長雨などで壊滅的な被害を被った観光産業。スキー場、海水浴場、温泉・宿泊施設など、観光事業全般に渡り今後どのような対策を図られるのかお聞かせ願いたい。

- (1) ジオパーク推進全体計画の策定と位置付け
- (2) 魅力あるジオサイトと核づくり
- (3) 既存の観光施設との連携・利活用
- (4) ジオツーリズム・交流事業の推進 イベント助成とクラインガルテン事業
- (5) 自然体験型観光と渚の再生事業
- (6) 宣伝PRと総合プロデュースの必要性

## 2 赤レンガ車庫の保存・利活用について

積年の課題であったJR糸魚川駅構内の赤レンガ車庫の存続問題。

保存利活用を求める1万1,633人市民の署名や赤レンガ募金など、これまで様々な活動で保存を訴えてきた赤レンガ保存活用研究会を始めとした市民団体の方々による赤レンガ車庫ファイナルイベントが8月29日に開催され、多くの市民が別れを惜しむとともに、その保存利活用を訴えております。

皮肉なことに、その朝刊には赤レンガは記録保存に留めるとの行政方針が掲載され、一縷の願いが閉ざされた感であります。

赤レンガ保存利活用を訴える市民の声にどう応えるのか。市長の考えをお聞き致します。

## 3 政権交代による補正予算はどうか。

民主党は政権発足後、麻生内閣が経済対策として策定した2009年度補正予算の執行停止に踏み切る。31日に締め切られる2010年度予算の概算要求も見直す方針だ。首相直属の「国家戦略局」を新設し、政治主導で予算の組み替えに着手する。補正予算の執行停止や組み替えで生じた分は来年度予算に振り向け、マニフェストに掲げた「子供手当」などの目玉施策に優

先的に配分する考えであるとの報道もなされ、これまで自民党政権下で編成されてきた補正予算が、執行できるのか。大きな不安を感じておりますが、今後の見通しをお聞かせ頂きたい。

また、関連してこれまで推進してきた公共事業などの予算配分もどのようになるのか、お聞かせ頂きたい。

## 新 保 峰 孝 1 子育て支援について

- (1) 次世代育成支援行動計画策定に向けての取組状況はどうか。
- (2) 子育てに関するアンケート結果の特徴をどのように受け止めているか。
- (3) 景気・雇用状況と子育てへの影響はどうか。
- (4) 子育てしやすい環境づくりについてはどのように考えているか。幅広く対策の充実をはかる必要があるのではないか。
- (5) 経済的支援策の充実についてはどのように考えているか。こども医療費の無料化を通院についても6年生まで拡大する等、幅広く充実させる必要があるのではないか。

## 2 国民健康保険税について

- (1) 合併協議で5年間の特例措置が行われている。来年4月以降、3地区均一化がはかられる予定とのことだが、今後の予定は。
- (2) 国民健康保険の保険給付費と基金保有額の推移はどうか。
- (3) 均一化する際は、少なくともどの地区も負担増とならないようにすべきではないか。

## 3 地域交通対策と高齢者お出かけ支援等について

- (1) 地域交通対策はどうか。
  - バス路線からはずれた地域への今後の対策
  - コミュニティバスの現状と今後
  - 乗合タクシーの取り組みと課題
  - 生活交通確保対策事業と乗合タクシー
  - 連携の良い公共交通網の整備について
- (2) 高齢者お出かけ支援等はどうか。
  - 高齢者お出かけバスの利用状況と課題
  - 高齢者お出かけ支援タクシー券の利用状況と課題
  - 福祉有償運送事業の利用状況と課題
  - 当初より対象・助成額が縮小され利用されにくくなっているのではないか。
  - 無料のシルバーパスを検討できないか。

## 鈴 木 勢 子 1 新型インフルエンザ対策について

日増しに新型インフルエンザの感染が増加し、国内での死亡者も出て、厚

生労働省では流行期に入ったとしております。市民の間でも感染への不安が高まる中で、次の点についておたずねいたします。

- (1) 夏休みが終わり2学期に入り、市内小中学校や保育所・幼稚園や高齢者福祉施設での集団感染が一番心配されているが、国県の取り組みの他に市として具体的にどのような対策を行っているか。
- (2) 高校へ通う市民(高校生)への対応は県任せの状態なのか。8月に感染者が出た中で、市としての対応はいかがであったのか。今後、高校生への対応はどのようなのか。
- (3) 去る8月23日開催の「地域医療フォーラム」では、家庭での対応が提案されたが、市民全体への周知徹底をしているのか。今後、万が一発生した場合、市の多角的な取り組みは万全なのか。

## 2 新幹線工事に伴う糸魚川橋上駅建設計画について

去る7月27日の全員協議会で、これまで特別委員会で示された建設工事費をはるかに上回る金額が示され、関係者を驚かせております。そこで次の点について、おたずねいたします。

- (1) 8月25日にJR西日本から見直し案として提示された内容は、これまでの47億円から34億円ということで、電気関連の移設工事費が大幅に削減され一定の評価ができるものの、橋上駅舎の全体計画そのものに問題はないか。計画原点に戻り、在来線の駅舎は橋上でなくとも機能が果たせるのではないか。
- (2) 市道でもある自由通路は市の南北をつなぐ単なる道路ではなく、夢のあるものとして位置づけるべきではないか。
- (3) 今後、後世に悔いを残さない駅舎としての計画を進めるべく主体性を持って取り組むべきではないか。また今後、市の建設負担額は全体としておおよそどれ位の持ち出しと試算しているのか。

## 3 糸魚川駅構内赤レンガ車庫の保存活用とジオパーク認定について

糸魚川市の優れた自然や地質が世界ジオパークに認定され、国内外に発信できる明るい話題でもあり、今後の取り組みが注目される所です。名実ともに世界に通用するジオパークとして、限られた人だけの交流にとどまらない多様な取り組みが求められることと思いますが、次の点についておたずねいたします。

- (1) 100年前に市内大和川地区で焼かれた赤レンガは、国内でも貴重であり風雪に耐え抜いた建物は現在も使用され、文化財として後世に残せるジオパークと同様に価値のある物で、新幹線建設工事のため解体撤去で廃棄物としてはならないと考えるが、いかがか。
- (2) 合併前の糸魚川市議会では全会一致で、赤レンガ車庫保存活用への要望書に賛成をし、また合併後の米田市長は部材活用を提案してきた経過があります。今、解体を目前にした赤レンガ車庫は近代建築遺産としての日増

しに価値観も高まり、その一部保存とジオパーク関連事業と合わせた有効な活用方法を再度真剣に考えてみてはいかがでしょうか。

#### 4 幅広い子育て支援と少子化対策について

市長2期目の「第2ステージ」で、“日本一の子どもを育てたい”と表明したことで、6月定例会「一般質問」でも取り上げてきましたが、その後の経過などをおたずねいたします。

- (1) 市民アンケートの結果をどのように捉えているか。また次世代育成支援行動計画に今後どのように反映させていくのか。
- (2) 子どもの学力は親の収入に比例するという衝撃的な発表もある中で、これを市はどのように受け止めているのか。
- (3) どんな家庭の子どもでも次世代を担う“地域の宝”であり、その環境整備と少子化対策への具体策はいかがか（例えば、子ども医療費助成の拡大、働く親のための休日保育の実現、父子家庭への市の独自の取り組み、児童公園と児童館の整備）。

#### 吉岡静夫 1 自公政権からの大転換が市民に及ぼす影響と対応・取り組みについて伺います。

自公政権から民主を中心とした政権への転換が目前です。

「国民が日本を変えた」「新しい時代が始まる」などのことばが踊り、加えて「民意くむ回路失った果て」だの「市民中心政権を」の注文が付けられ、さらに具体的に「予算全面組み替え」「2010年予算編成大幅組み換え」などの観測記事も連日流されております。

問題点をかかえた使い途、むしろ撤廃・転換すべき費目や改めて検討・見直すべきが国民・市民のためになるはずの使い途・費目も多々あります。

そのなかからいくつか絞ってお聞きます。

後期高齢者医療制度・介護保険制度、新幹線に伴う在来線3セク化、地デジ対応に関連させての情報基盤などなど市民・国民の暮らしに直結するこれら諸問題について、地方自治体として現在どう取り組まれているか、また、今後どう取り組もうとしているか。

#### 2 国道8号糸魚川東バイパス・北陸新幹線・中央大通り線(県道西中糸魚川線)・2級河川前川排水路について伺います。

以上の諸々の工事が、いま集中的に進められています。

特に、大和川地区では、ここ3～4年、景色が一変するほどの大規模・複雑な激変ぶりであります。さらに隣接する浦本地区においても特に国道8号東バイパスの進み具合は多大な関心が寄せられております。

北陸新幹線については、昭和60年代はじめの「北陸新幹線環境影響評価報告書」にすでに法線の素顔を見せ、国道8号糸魚川東バイパスについても、昭和50年代後半にすでに「計画線調査」というかたちでその姿を見せてお

ります。

以来約20数年、そしてようやく具体的にそのすがたが市民の目にわかるようになってきました。

大和川・浦本地区住民に限らず、全市的・全市民的に大きな影響を及ぼす諸問題だけに、その全体像を、そして見通しを、改めて明らかにすべきときではないかと考えるのですが、いかがでしょうか。

- 3 “医療生活協同組合姫川病院”対応について伺います。
- 4 公民館制度見直しの検討状況について伺います。
- 5 衆院選、最高裁判所裁判官国民審査について伺います。

久保田 長 門 1 水産行政について

(古畑浩一)

- (1) 糸魚川市における水産業（沿岸漁業）の現状と課題について伺います。
- (2) 糸魚川市にとり、水産振興に必要なさまざまな連携があるが、現在までどのようにして施策を展開してきたか、又今後どのようにして連携を展開していくか伺います。

漁業者同士の連携について伺います。

加工・販売・流通関係者との連携について伺います。

消費者との連携について伺います。

異業種との連携について伺います。

地域住民との連携について伺います。

研究サイドとの連携について伺います。

2 地域医療について

地域医療（能生国保診療所）の後任医師確保について伺います。